

第 6 章

消費税

- ・ 6-1 課税方式設定
- ・ 6-2 消費税申告書
- ・ 6-3 消費税内訳書
- ・ 6-4 消費税集計表
- ・ 6-5 消費税試算表
- ・ 6-6 消費税申告書修正

6-1 課税方式設定

【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】

消費税申告書の計算方法や各種情報を設定します。

計算方式設定

基本設定

■集計選択

消費税を集計する期間を選択します。単月をクリックして指定、またはドラッグして複数月を指定することができます。申告区分が「中間」の場合は、中間申告の場合の対象期間に反映します。

■支店選択

本支店管理を行うデータの場合のみ表示されます。通常は「法人全体」を選択しますが、本支店ごとに消費税を集計することも可能です。

■課税区分

「原則課税」「簡易課税」から選択します。「簡易課税」を指定した時で、仕訳データに原則課税用の消費税コードが使用されている場合は、[初期(S)]-[基本設定(1)]消費税タブの消費税申告区分で選択されている業種に読み替えて集計されます。消費税申告区分の設定が原則課税の場合は、全て第4種売上とみなして計算されます。

■みなし仕入率

課税区分で「簡易課税」を選択した場合のみ有効です。左から順に第1種から第6種のみなし仕入率として「90%」「80%」「70%」「60%」「50%」「40%」が設定されています。変更する場合は半角2桁以内で設定します。

■控除対象仕入税額の計算

簡易課税の場合に、控除対象仕入税額の計算を「簡便法」を使って行う場合にチェックを付けます。「貸倒回収が無い」、且つ「売上対価の返還等が有る場合に各業種の消費税額を超えない」の条件を満たすと簡便法で計算されます。

■中間納付額等

■中間納付額

中間納付額がある場合に半角11桁以内で設定します。

■中間納付譲渡割額

中間納付譲渡割額がある場合に半角11桁以内で設定します。

■控除税額調整 付表2-(2) 18A

課税売上割合変動時の調整対象固定資産に係る消費税額の調整(加算または減算)額の旧税率適用分がある場合に、半角11桁以内で設定します。付表2-(2)の18A欄へ反映します。

■控除税額調整 付表2-(2) 18B

課税売上割合変動時の調整対象固定資産に係る消費税額の調整(加算または減算)額の税率4%適用分がある場合に、半角11桁以内で設定します。付表2-(2)の18B欄へ反映します。

■控除税額調整 付表 2-(2) 19A

調整対象固定資産を課税業務用(非課税業務用)に転用した場合の調整(加算または減算)額の旧税率適用分がある場合に、半角 11 桁以内で設定します。付表 2-(2)の 19A 欄へ反映します。

■控除税額調整 付表 2-(2) 19B

調整対象固定資産を課税業務用(非課税業務用)に転用した場合の調整(加算または減算)額の税率 4%適用分がある場合に、半角 11 桁以内で設定します。付表 2-(2)の 19B 欄へ反映します。

■基準期間の課税売上高

基準期間(前々年度)の課税売上高を半角 11 桁以内で設定します。

申告区分

■申告区分

「確定」「中間」「修正」から選択します。消費税申告書のタイトルに反映します。

■課税期間の短縮特例の適用

課税期間を3ヶ月又は1ヶ月に短縮する特例を適用している場合に「適用する」を選択します。

参考事項

■課税標準額に対する消費税額の計算の特例の適用

「適用しない」「適用する」から選択します。

■課税売上割合が 95%未満の場合の控除税額計算方法

「個別対応方式」「一括比例配分方式」から選択します。

■個別対応方式選択時の按分割合

「課税売上割合」「准ずる割合」から選択します。「准ずる割合」を選択した場合は割合の設定を行います。

■付表4の⑦～⑨、付表5-(2)のⅠ-④、Ⅱ-⑤、Ⅲ-(3)の合計欄(D)の計算方法

「常に合計欄の金額を計算式にあてはめて計算する」場合にチェックを付けます。

チェックを外すと以下のケースに該当する場合のみ合計欄の金額を計算式に当てはめて計算されます。(該当しない場合は各税率適用分の金額が合計されます。)

- ・課税売上高に係る消費税額より売上対価の返還等に係る消費税額が大きい場合
- ・貸倒回収にかかる税額がある場合

納税者・付記事項

納税者

■提出年月日

消費税申告書に提出年月日を印字する場合に設定します。

■税務署名

消費税申告書に印字する税務署名を全角8文字以内で設定します。

■納税地

消費税申告書に印字する住所が表示されます。変更する場合は【初期(S)】-【基本設定(1)】で行います。

■電話番号

消費税申告書に印字する電話番号が表示されます。変更する場合は【初期(S)】-【基本設定(1)】で行います。

■名称または屋号

消費税申告書に印字する名称または屋号が表示されます。変更する場合は【初期(S)】-【基本設定(1)】で行います。

■代表者氏名と同一でも印刷する

個人データの場合に表示されます。名称または屋号と代表者氏名が同一の場合に消費税申告書の名称または屋号欄へ印字する場合にチェックを付けます。

■名称または屋号カナ

消費税申告書に印字する名称または屋号カナが表示されます。変更する場合は【初期(S)】-【基本設定(1)】で行います。

■代表者氏名

消費税申告書に印字する代表者の氏名を全角 8 文字以内で設定します。

■代表者氏名カナ

消費税申告書に印字する代表者の氏名カナを半角 16 文字以内で設定します。

■経理担当者名

消費税申告書に印字する経理担当者名を全角 8 文字以内で設定します。

税務署処理欄

■整理番号

消費税申告書に印字する整理番号を半角 8 文字以内で設定します。

■申告年月日

消費税申告書に申告年月日を印字する場合に設定します。

■指導年月日

消費税申告書に指導年月日を印字する場合に設定します。

■付記事項

「割賦基準の適用」「延払基準等の適用」「工事進行基準の適用」「現金主義会計の適用」に該当する場合にチェックを付けます。

金融機関・税理士

■還付を受けようとする金融機関等

■金融機関名

消費税が還付される場合に、還付金を受ける金融機関名を設定し、金融機関区分を選択します。

■店名

消費税が還付される場合に、還付金を受ける金融機関の支店等の名称を設定し、本店・支店等の区分を選択します。

■預金種別

消費税が還付される場合に、還付金を受ける金融機関の預金種別を選択します。

■ 口座番号

消費税が還付される場合に、還付金を受ける金融機関の口座番号を半角 10 桁以内で設定します。

■ 郵便局名

ゆうちょ銀行で消費税の還付を受ける場合に、郵便局名等を全角 10 文字以内で設定します。

■ 貯金記号番号

ゆうちょ銀行で消費税の還付を受ける場合に、貯金記号番号を設定します。

■ 税理士名等

■ 税理士名

消費税申告書に税理士名を印字する場合に、上段全角 15 文字以内、下段全角 8 文字以内で設定します。

■ 電話番号

消費税申告書に税理士電話番号を印字する場合に、半角 13 桁以内で設定します。

■ 税理士法第 30 条の書面提出有り

該当する場合にチェックを付けます。

■ 税理士法第 33 条の 2 の書面提出有り

該当する場合にチェックを付けます。

6-2 消費税申告書

【消費税(T)】-【消費税申告書(2)】

消費税申告書の参照・印刷を行います。データ選択後、[課税方式設定][消費税内訳書][消費税申告書修正]のいずれも開かずに本メニューを選択すると、必ず[課税方式設定]画面が表示されます。各項目の集計数値は仕訳入力時の消費税コードにより反映します。消費税コード別の集計数値は【消費税(T)】-【消費税内訳書(3)】で確認することができます。

■集計期間

【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】で指定した期間が表示されます。

■マイナンバーを表示する

法人番号(個人番号)を参照・印刷する場合にチェックを付けます。マイナンバー管理者でログインしている場合に有効です。

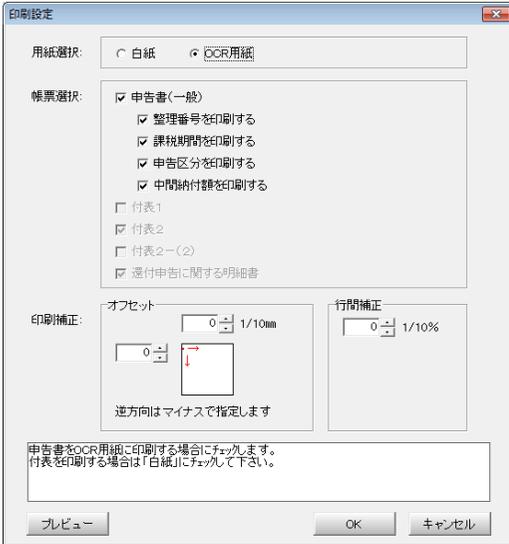
■支店選択

本支店管理を行うデータの場合のみ表示されます。【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】で選択した支店が表示されます。

■F8:印刷

消費税申告書・付表を印刷する場合に使用します。

[原則課税]の印刷設定画面



[簡易課税]の印刷設定画面



用紙選択	「白紙」「OCR用紙」から選択します。
帳票選択	印刷する帳票にチェックを付けます。「OCR用紙」を選択した場合、「整理番号を印刷する」「課税期間を印刷する」「申告区分を印刷する」「中間納付額を印刷する」が選択可能になります。「付表」は「白紙」を選択した場合に選択可能になります。「還付申告に関する明細書」は還付税額がある場合に有効になります。「特定課税仕入れがある場合の課税標準額等の内訳書」は、課税売上割合が95%未満で特定課税仕入れ区分の消費税コード(551、552、553、581、582、583)が使われている場合に「申告書(一般)」の2ページ目として印刷されます。
印刷補正(オフセット)	「OCR用紙」を選択した場合のみ有効です。プリンターの機種によって印字位置がずれる場合があります。印刷補正(オフセット)では、上下・左右に補正值を設定することで印字位置を調整することができます。-100~100の範囲で設定します。プラスの値を設定した場合は、上下方向は下へ、左右方向は右へ補正されます。
印刷補正(行間補正)	先頭行は適正に印字されるが最終行の印字位置が合わない場合に行間補

	正を行います。プラスの値で行間を広く、マイナスで狭く補正されます。
プレビュー	帳票選択でチェックを付けた帳票の印刷イメージが表示されます。

消費税申告書集計の注意事項

①平成26年4月1日改正の消費税申告書の書式(8%対応の書式)にのみ対応しています。期末日が平成26年3月31日以前のデータを開くと、『この会計期間の消費税申告書への対応は終了している』旨のメッセージが表示されますが、計算自体は正常に行われています。

②簡易課税用の消費税申告書は第五種までの様式(旧様式)と、第六種対応の様式(新様式)の両方に対応しています。期首日付が2015/04/01以降の場合、及び【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】で課税期間の短縮特例を“適用する”に設定して2015/04/01以降を期間指定して集計した場合は新様式(第六種対応の様式)、それ以外の場合は旧様式になります。

6-3 消費税内訳書

【消費税(T)】-【消費税内訳書(3)】

消費税区分ごとに集計結果を参照・印刷します。【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】の設定に従い集計されます。データ選択後、[課税方式設定][消費税申告書][消費税申告書修正]のいずれも開かず、本メニューを選択すると、必ず[課税方式設定]画面が表示されます。

項目	税込額(円)	課上税額(円)	課上税額(円)	税込額(円)	課上税額(円)	課上税額(円)	税込
【課税売上】							
110課税売上	49,529,995	0	0	0	0	0	
111第1種課税売上	0	0	0	0	0	0	
112第2種課税売上	0	0	0	0	0	0	
113第3種課税売上	0	0	0	0	0	0	
114第4種課税売上	0	0	0	0	0	0	
115第5種課税売上	0	0	0	0	0	0	
116第6種課税売上	0	0	0	0	0	0	
小計	49,529,995	0	0	0	0	0	
010売上	0	0	0	0	0	0	
011第1種課税売上	0	0	0	0	0	0	
012第2種課税売上	0	0	0	0	0	0	
013第3種課税売上	0	0	0	0	0	0	
014第4種課税売上	0	0	0	0	0	0	
015第5種課税売上	0	0	0	0	0	0	
016第6種課税売上	0	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	0	0	
合計	49,529,995	0	0	0	0	0	
【売上控除】							
010課税売上	0	0	0	0	0	0	
011第1種課税売上	0	0	0	0	0	0	
012第2種課税売上	0	0	0	0	0	0	

■集計期間

【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】で指定した期間が表示されます。

■支店選択

本支店管理を行うデータの場合のみ表示されます。【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】で選択した支店が表示されます。

■ゼロ非表示

集計結果が0円の消費税区分を表示しない場合にチェックを付けます。

■ F8:印刷

消費税内訳書を印刷する場合に使用します。【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】の「課税標準額に対する消費税額の計算の特例の適用」の設定により集計結果が変わります。

「課税標準額に対する消費税額の計算の特例の適用」を「適用しない」場合

税込額(8%)	全仕訳データが税込額で集計されます。
積上税抜(8%)	集計されません。
積上税額(8%)	集計されません。
税込額(5%・3%)	旧税率を使用した全仕訳データが税込額で集計されます。
積上税抜(5%・3%)	集計されません。
積上税額(5%・3%)	集計されません。

「課税標準額に対する消費税額の計算の特例の適用」を「適用する」場合

税込額(8%)	税込入力・税抜入力をし、税額変更をしていない仕訳が税込額で集計されます。
積上税抜(8%)	税外入力をした仕訳、および税額変更をした仕訳の本体金額の合計額が集計されます。
積上税額(8%)	仮受消費税・仮払消費税を 600 番台・700 番台の消費税コードで入力した仕訳の金額、および税額変更をした仕訳の消費税額の合計額が集計されます。
税込額(5%・3%)	旧税率で税込入力・税抜入力をし、税額変更をしていない仕訳が税込額で集計されます。
積上税抜(5%・3%)	税外入力をした仕訳、および税額変更をした仕訳(旧税率使用分)の本体金額の合計額が集計されます。
積上税額(5%・3%)	仮受消費税・仮払消費税を 600 番台・700 番台の消費税コードで入力した仕訳の金額、および税額変更をした仕訳(旧税率使用分)の消費税額の合計額が集計されます。

6-4 消費税集計表

【消費税(T)】-【消費税集計表(4)】

消費税区分の集計結果を科目(補助科目)ごとに参照・印刷します。集計結果から元帳へジャンプして明細を確認することができます。

科目名	コード	110課税売上	130非課税売上	511課税売上対応課	610売上	711課税売上	合計
現金	335	0	0	0	0	0	2,522,829
営業消費税	397	0	0	0	3,668,854	0	3,668,854
売上	401	44,833,963	0	0	0	0	44,833,963
売上	402	957,410	0	0	0	0	957,410
前年商品製品増取高	497	0	0	0	0	0	1,456,372
仕入	492	0	0	18,072,197	0	0	18,072,197
外注費	495	0	0	766,118	0	0	766,118
前年商品製品増取高	498	0	0	0	0	0	1,345,692
材料仕入	501	0	0	3,445,963	0	0	3,445,963
現金	511	0	0	0	0	0	2,136,297
法定福利費	512	0	0	0	0	0	507,659
外注費	521	0	0	416,667	0	0	416,667
水道光熱費	532	0	0	321,114	0	0	321,114
旅費交通費	563	0	0	177,590	0	0	177,590
雑費	569	0	0	3,678	0	0	3,678
設備増価	651	0	0	0	0	0	4,900,000
経手手数料	652	0	0	0	0	0	7,200,000
法定福利費	653	0	0	0	0	0	1,061,600
福利厚生費	656	0	0	142,138	0	0	142,138
合計		45,861,081	8,130	28,021,723	3,668,854	2,136,297	

■集計期間

【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】で指定した期間が表示されます。

■支店選択

【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】で選択した支店が表示されます。本支店管理を行うデータの場合のみ表示されます。

■補助

補助科目を全て展開して画面に表示する場合は「全表示」を、全て表示しない場合は「全非表示」を選択します。個別に表示/非表示を切り替える場合は勘定科目名左隣のマークをクリックします。

■ゼロ非表示

残高が¥0の勘定科目および補助科目を表示しない場合にチェックを付けます。

■集計条件

集計条件を「税込残高」「税抜残高」「消費税額」「変更税額」から選択します。

税込残高	税込金額で集計されます。
税抜残高	税抜金額で集計されます。
消費税額	消費税額の合計額が集計されます。
変更税額	税額変更した消費税額が集計されます。

■消費税率

「8%」「5%」「3%」「対象外」から選択します。複数選択することもできます。

8%	税率 8%の課税取引が集計対象となります。
5%	税率 5%の課税取引が集計対象となります。
3%	旧税率 3%の課税取引が集計対象となります。
対象外	課税取引以外の取引が集計対象となります。

■集計

ボタンを押すと集計条件・消費税率の設定に従い集計が始まります。

■表示列

画面表示および印刷対象とする消費税コードにチェックを付けます。[消費税コードの選択]画面上で右クリックすると「すべて選択」「選択解除」が表示されます。

■F3:元帳

選択科目の元帳へジャンプします。ジャンプ先の元帳は、選択した消費税区分で抽出された状態になっています。

■F8:印刷

消費税集計表を印刷する場合に使用します。用紙の向きを「縦」または「横」から指定します。

6-5 消費税試算表

【消費税(T)】-【消費税試算表(5)】

科目残高又は消費税区分残高の内訳(8%・5%・3%・免税・非課税・輸入・課税対象外他)が確認できます。「科目別」に集計した場合は元帳に、「消費税区分別」の場合は仕訳帳にジャンプして仕訳明細が確認できます。

科目別	消費税区分別	科目名	コード	残高	8%	5%	3%	免税	非課税
		前受金	331	6,900,000	0	0	0	0	0
		預り金	335	2,835,021	0	0	0	0	0
		販売消費税	337	3,666,854	3,666,854	0	0	0	0
		貸入金	801	10,000,000	0	0	0	0	0
		繰上利益剰余金	953	25,625,007	0	0	0	0	0
		売上	401	44,833,963	44,833,963	0	0	0	0
		売上	402	957,410	957,410	0	0	0	0
		前払商品取引損戻戻高	497	1,485,372	0	0	0	0	0
		仕入	452	18,072,197	18,072,197	0	0	0	0
		外注費	495	759,118	759,118	0	0	0	0
		材料仕入	501	3,445,963	3,445,963	0	0	0	0
		現金	511	2,130,297	0	0	0	0	0
		法定福利費	512	507,659	0	0	0	0	0
		外注費	521	416,667	416,667	0	0	0	0
		派遣料費	532	321,114	321,114	0	0	0	0
		旅費交通費	553	177,590	177,590	0	0	0	0
		雑費	559	3,978	3,978	0	0	0	0
		期末商品取引損戻戻高	498	1,345,652	0	0	0	0	0
		役員報酬	651	4,800,000	0	0	0	0	0

■集計期間

集計期間を選択します。単月をクリックして指定、またはドラッグして複数月を指定することができます。

■支店選択

本支店管理を行うデータの場合のみ表示されます。帳票を表示する本支店を選択します。

■補助

補助科目を全て展開して画面に表示する場合は「全表示」を、全て表示しない場合は「全非表示」を選択します。個別に表示／非表示を切り替える場合は勘定科目名左隣のマークをクリックします。

■ゼロ非表示

残高が¥0の勘定科目および補助科目を表示しない場合にチェックを付けます。

■消費税

残高の表示方法を「税込処理」「税抜処理」から選択します。メニューを開いた直後は【初期(S)】—【基本設定(I)】の消費税タブにある「消費税処理方法」が反映しています。

■集計区分

残高の集計方法を「累計」「発生」から選択します。

■集計

ボタンを押すと消費税・集計条件の設定に従い集計が始まります。

■F3:元帳

科目別タブの時に表示されます。選択科目の元帳にジャンプする場合に使用します。ここで開く元帳は「集計期間」や税率で抽出された状態になっています。

■F3:仕訳帳

消費税区分別タブの時に表示されます。選択行の「消費税区分」と、「集計期間」や税率で抽出された仕訳帳にジャンプする場合に使用します。

■F8:印刷

消費税試算表を印刷する場合に使用します。[印刷設定]画面が表示されます。

6-6 消費税申告書修正

【消費税(T)】-【消費税申告書修正(6)】

【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】の設定に従い消費税申告書が集計されますが、手入力で修正して印刷することができます。データ選択後、[課税方式設定][消費税申告書][消費税内訳書]のいずれも開かず本メニューを選択すると、必ず[課税方式設定]画面が表示されます。

項目	課税対象		合計金額 (A+B) C
	旧税率適用分 A	税率4%適用分 B	
課税売上額(税抜き)	285,597,341	0	285,597,341
免税売上額			0
非課税資産の輸送等の金額、 海外支店等へ移送した資産の譲渡			0
課税資産の譲渡等の付添の額(1+2+3)			0
課税資産の譲渡等の付添の額(4)の金額			285,597,341
非課税売上額			0

■集計期間

【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】で指定した期間が表示されます。

■支店選択

本支店管理を行うデータの場合のみ表示されます。【消費税(T)】-【課税方式設定(1)】で選択した支店が表示されます。

■課税売上額を付表1へコピーする／課税売上額を付表4へコピーする

原則課税の場合は、付表2-(2)の課税売上額(税抜)を付表1の課税標準額①にコピーする場合にチェックを付けます。簡易課税の場合は、付表5-(2)の課税売上額(税抜)を付表4の課税標準額①にコピーする場合にチェックを付けます。

■F2:集計

現在の入力値を破棄して仕訳データから集計する場合に使用します。

■F8:印刷

消費税申告書・付表を印刷する場合に使用します。

[原則課税]の印刷設定画面

[簡易課税]の印刷設定画面

用紙選択	「白紙」「OCR用紙」から選択します。
帳票選択	印刷する帳票にチェックを付けます。「OCR用紙」を選択した場合、「整理番号を印刷する」「課税期間を印刷する」「申告区分を印刷する」「中間納付額を印刷する」が選択可能になります。「付表」は「白紙」を選択した場合に選択可能になります。「還付申告に関する明細書」は還付税額がある場合に有効になります。「特定課税仕入れがある場合の課税標準額等の内訳書」は、課税売上割合が95%未満で特定課税仕入れ区分の消費税コード(551、552、553、581、582、583)が使われている場合に「申告書(一般)」の2ページ目として印刷されます。
印刷補正(オフセット)	「OCR用紙」を選択した場合のみ有効です。プリンターの機種によって印字位置がずれる場合があります。印刷補正(オフセット)では、上下・左右に補正值を設定することで印字位置を調整することができます。-100~100の範

	囲で設定します。プラスの値を設定した場合は、上下方向は下へ、左右方向は右へ補正されます。
印刷補正(行間補正)	先頭行は適正に印字されるが最終行の印字位置が合わない場合に行間補正を行います。プラスの値で行間を広く、マイナスで狭く補正されます。
プレビュー	帳票選択でチェックを付けた帳票の印刷イメージが表示されます。